

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所びーす浜田		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	知識や経験のある指導員が多く突発的なことへの対応力がある。臨機応変に動ける。職員間の関係性も良く連携がとれている。	常に、こういう時はどうするかの話をつ職員間で確認している。	研修や訓練などで更なるスキルアップを目指す。
2	気になることや相談事がある場合は、送迎時、電話、連絡帳等で常に聞ける場面を作っている。職員と保護者とのコミュニケーションがとれている。	保護者の声に耳を傾け、すぐに対応できるように心掛けている。	全職員のスキルアップを図り、保護者の声に的確なアドバイスができるようにする。 ※外部研修参加ができるよう調整する。
3	室内や、トイレ、洗面所など施設内を清潔に保っており過ごしやすい空間となっている。	日常的に、掃除や消毒には力を入れており常に安心安全な環境設備に心がけている。	快適な空間を保つ為、今後も続けていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携ができていない。	保育園の園庭開放や、地域の施設へ交流を試みたが保護者ではないとのことで受け入れてもらえなかった。	関連事業所に児童デイ、放デイ、就労があるのでまずは自社での交流を試みる。
2	保護者同士の交流の場がない。	4月から児童発達支援事業所となり2歳、3歳の利用者が増え場に慣れることを優先した。	次年度からは保護者との交流の場も作れるようにしていく。
3			